

2023年度ステップアップ選抜研修会 参加報告書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	令和5年度 第71回大阪高等学校バスケットボール新人大会 中央大会				
●日程	令和6年2月3日 (土)				
●会場	堺市立大浜体育館				
●講師	茅野 修司 様 黒岡 和哲 様 細見 竜太 様 北村 仁 様 大倉 哲也 様 太田 令菜 様				
●スケジュール	令和6年2月3日 (土) 9:30 集合・開講式 10:00 実技開始 17:00 閉講式				
●担当試合	令和6年2月3日 (土) 10:00 ~				
対戦カード	大阪薫英女学院		VS	大塚	
主審(CC)	川崎 洋次郎 氏	副審(U1)	國守 幹彦 氏	(U2)	藤内 拓真
講師	茅野 修司 様 大倉 哲也 様				
講評	試合の展開に沿った判定が求められる。クローのクロックへの意識が感じられた。トラベリングについては明らかなものを取り上げ、1試合を通して判定し続ける必要がある。両チームのプレーの特徴やボールの動きを分析・理解・予想できれば、適切なローテーションを行うことができる。後半の選手が代わった後のプレーの変化に気付き、選手に判定を伝える意味を持つコールがあると良い。選手に相手との適切な距離を確保、理解させることはケガを防ぐ事にもつながる。				
自己の感想	プライマリを意識したコールをすることができた。ポジションアジャストでアングルを確保できるように工夫した。EOQではショットが起こることを予想しアングルを確保して備えることで、判定につながられたと感じた。クロックを残す時に、クローと協力して適切な処置を行うことが大切である。 レフェリーディフェンスを意識して判定を行うことが課題であると感じた。ディフェンスの位置を把握し、ボールの位置と選手の位置からプレーの方向を予測して判定できるようにしなければならない。オフボールの選手にも意識を持ち、判定することが求められる。 最後になりましたが、本研修会にてご指導賜りました大阪府審判委員会インストラクターの講師の皆様、大会を運営していただきました高体連の皆様へ感謝申し上げます。				

ス テ ッ プ ア ッ プ 選 抜 選 考 会 参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	第71回 大阪高等学校バスケットボール新人大会					
●日程	令和6年2月3日 (土) ~					
●会場	堺市立大浜体育館					
●講師	黒岡 和哲様 茅野 修司様 細見 竜太様 北村 仁様 太田 令菜様 大倉 哲也様					
●スケジュール	令和6年2月3日 (土)					
	9:30 開講式 13:30 プレゲームカンファレンス 15:25 コートイン 15:35 トスアップ 18:00 閉講式					
●担当試合	令和6年2月3日 (土) 15:35 ~					
	対戦カード	箕面自由 VS 箕面学園				
	主審(CC)	田中 孝史氏	副審(U1)	稲山 虎祥	(U2)	増田 知真氏
	講師/主任	黒岡 和哲様 太田 令菜様				
	講評	<ul style="list-style-type: none"> ・ポジションアジャストの徹底 1gameを通してno callを説得力のある位置で見れていない ・選手の装着物の確認 留学生のインナーシャツの確認を怠っていた ・プライマリの認識 double callになった場面でアイコンタクトなしでtakeするケースが多かった 				
	自己の感想	<p>PGCでは、地区予選以来の再対戦なので違った雰囲気ของเกมになる事や留学生が一番のキーポイントになる事を予想してゲームに入りました。</p> <p>序盤から留学生に対してのイリーガルな押し込みをコールして選手にメッセージを示せたのは良かったと思いますが、以降のハンドチェックやインパクトに対して判定出来なかった点や確認していても迷ってしまいコール出来なかった点があり、1試合を通して安定したレフェリングが出来ませんでした。</p> <p>メンタル面で、序盤の勢いそのままに冷静になれずにブロックチャージの場面でもプライマリレフェリーが鳴っているにも関わらず、気づかずにテイクしてしまう場面もありました。</p> <p>もっと冷静にメカニクスとプレーコーリングを体現する事が必要だと痛感しました。</p>				

2023年度 ステップアップ選抜研修会 参加報告書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	第71回 大阪高等学校バスケットボール新人大会 中央大会					
●日程	令和6年1月27日 (土) ~		令和6年2月4日 (日)			
●会場	大浜だいしんアリーナ					
●講師	IR:黒岡 和哲 様、茅野 修司 様、細見 竜太 様、北村 仁 様、大倉 哲也 様、太田 令菜 様 補助講師:古島 彩代 様、河崎 亮介 様					
●スケジュール	令和6年2月3日 (土)		大浜だいしんアリーナ			
	9:30 開講式 10:30 PGC 11:25 コートイン・コートインスペクション 11:40 実技開始 16:45 閉講式					
●担当試合	令和6年2月3日 (土) 11:40 ~					
	対戦カード	大阪体育大学浪商高等学校		VS	好文学園女子高等学校	
	審判	CC	森 照代 氏	U1	三富 千聖	U2 吉田 拓哉 氏
	講師/主任	黒岡 和哲 様、細見 竜太 様				
	講評	ゲームのポイントとなるマッチアップへ意識がある事は理解されていて気も配られていましたが、リーガル・イリーガルの判断=判定基準を早い段階から示せば良かったのではないのでしょうか。プレイの見極めについて、感じた事を素直に表現する事でプレイヤー・ベンチに基準を示せるでしょう。またゲーム中に起こる予想外のコンタクトについてもプライマリに任せる事はメカニクスから大切な事ですが、何かの理由があってコール出来ない場合には、CCMを発揮して飛び込む事も必要でしょう。プレゼンテーションや見せ方の工夫は今後も継続して下さい。目の前、プライマリ内で起こる事について、明らかなケースは笛を入れて欲しいケースがいくつかあります。細かな気配りをしながらも、大きなケースも同じ様に判定をして下さい。				
	自己の感想	・センターのマッチアップやルーズボール時のコンタクトについて、ゲームのはじめからリーガル、イリーガルの判定を笛を鳴らすことで示すべきだった。 ・ピックインパクトに対してコールがないケースが散見され、プライマリ内外に関わらず、感じたことをより素直に表現すべきであった。 ・レイトミートやポストでのトラベリングなど、バイオレーションについて積極的に判定することができた。 ・リードでは、プレイ展開に合わせた丁寧なポジションアジャストと、積極的なローテーションの展開にトライすることができたが、エッジへのキックアウトに対して、パラレルにならずトレイルに預けたほうが良いケースがみられた。 ・アウトオブバウンズでのポゼッションの指し間違いについて、訂正がベンチに伝わっておらず信頼を損なうこととなった。声を使って訂正し、適切に対応するべきであった。 最後になりましたが、今回の研修会の開催にあたり、ご協力いただきました皆さまに感謝申し上げます。今後も、より良いレフェリングができるよう自己研鑽に励みます。				

2023年度ステップアップ選抜研修会 参加報告書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	令和5年度第71回大阪高等学校バスケットボール新人大会 中央大会		
●日程	令和5年2月3日 (土) ~ 令和5年2月3日 (土)		
●会場	堺市立大浜体育館		
●講師	黒岡 和哲 様 茅野 修司 様 細見 竜太 様 北村 仁 様 大倉 哲也 様 太田 令菜 様		
●スケジュール	令和5年8月26日 (土) 9:30 集合・開講式 9:45 Court in 10:00 TipOff 16:45 閉講式 17:00 解散		
●担当試合	令和5年2月3日 (土) 10:00 ~		
	対戦カード	大阪薫英女学院 VS 大塚	
	主審	CC 川崎 氏	U1 國守 氏
			U2 藤内 氏
	講師/主任	茅野 修司 様 大倉 哲也 様	
講評	クロックの管理、修正等は1試合通してコントロールができていた。同じような事象が複数あった際に判定が変わってしまっていたのでルールとして基準を擦り合わせるように共有が必要であった。ゲーム中盤に両チームのイリーガルなものに判定が入っていなかったため判定をする必要があった。		
自己の感想	自身の課題の一つであった表示物の管理などで、今回は、TOが終始不安定であったがクロック管理、修正などでできていたように感じた。反面、判定が必要なケースについて事象を理解しているのに判定ができていないケースがあり決断力を持って判定すべきであった。また、判定したものが間違いであったケースもあり、プレイコーリングにおいて不安定さがあり理解を深める必要がある。 ご多用の中、講習会の企画・運営などしていただき大阪府バスケットボール協会審判委員会の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました		

令和4年度 第71回大阪高等学校バスケットボール新人大会 中央大会 参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	令和4年度 第71回 大阪高等学校バスケットボール新人大会 中央大会				
●日程	令和6年2月3日 (土) ~		令和6年2月3日 (土)		
●会場	堺市大浜体育館				
●講師	黒岡 和哲様、茅野 修司様、細見 竜太様、北村 仁様、大倉 哲也様、太田 令菜様				
●スケジュール	令和6年2月3日 (土)				
	9:30 開講式 10:00 実技開始 16:45 閉講式 17:00 解散				
●担当試合	令和6年2月3日 (土) 11:40 ~				
	対戦カード	大体大浪商		VS	好文学園女子
	主審(CC)	森照代氏	副審(U1)	三富千聖氏 (U2)	吉田拓哉
	講師/主任	黒岡 和哲様、細見 竜太様			
	講評	<ul style="list-style-type: none"> ・ショットクロック、8秒バイオレーション、タイマー修正など1試合通してクルーで吹いていた ・終わり方は選手が決着を着けた形になったので良かった ・1試合通してピックマンに対する守り方がどうだったのか。映像を見て確認が必要 ・OOBが本当にラインを超えたからなのか、シリンダーファールがあって、ラインを超えたのではないか ・プレーの線引きをもう少し分かりやすくする、リーガル、イリーガルの幅が広く、グレーの部分が多かった ・ダブルコールが何回かあったため、プライマリの確認が必要 ・青ベンチのヘッドコーチの審判へのコミュニケーションの周りの見え方を考えた時にTFの選択肢はなかったのか。 ・リバウンドへの選手の入り方がどうだったのか ・もう少し決断してコールしてもいいものがあった ・プレゼンの部分できちんと止まって見せるなど、もう少し言い見せ方ができる 			
	自己の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・テンポセットの部分で両チームのピックマンに対しての守り方の部分で笛を入れておくべきだった。 ・ショットクロック、8秒バイオレーションなど、表示物の管理は1試合通して出来ていた部分は良かったと思う。 ・プレゼンの部分でももう少し言い見せ方ができると講評でもあったため、次のレフリー活動までに研究し、改善していきたい。 ・コミュニケーションに対して無視しているわけではないが、周りからはそう捉えられてもおかしくない行動だったため、改善していきたい。 ・最後ではありますが、今大会開催にあたり大会準備やTOを行っていただきました大阪高体連の皆様、並びにチーム関係者の皆様、また今回講習会に推薦していただきました大阪府バスケットボール協会の皆様、講師の皆様に心より御礼申し上げます。 			

次年度 ステップアップ 研修生 選抜 講習会 参加 報告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	第71回 大阪高等学校バスケットボール新人大会 中央大会				
●日程	令和5年2月4日 (土)				
●会場	堺市立大浜体育館				
●講師	黒岡 和哲 様 茅野 修司 様 細見 竜太 様 北村 仁 様 大倉 哲也 様 太田 令菜 様				
●スケジュール	令和6年2月4日 (土)				
	9:30 開講式 12:15 PGC 13:20 実技開始 15:00 IRによるミーティング 17:00 閉講式				
●担当試合	令和6年2月4日 (土) 13:20 ~				
	対戦カード	大阪学院		VS	大塚
	主審(CC)	堂國 和昭氏	副審(U1)	平出 圭佑氏 (U2)	上田 昂虎
	講師/主任	茅野 修司 様 北村 仁 様			
	講評	<ul style="list-style-type: none"> ・コールしているものは良かった ・もっとファウルを鳴らせる場面があった ・ベンチコントロールのところでお互いのチームがエリア外出てきた時の対処はできていたのか ・トレイル時のポジションアジャストで改善するべきところがある ・センター時はプレーを予測しポジションアジャストできていた 			
	自己の感想	<p>今回の試合を通して、シンプルにコールできていたことは良かった。その中でもコールする必要があるのかないのかを見極める必要があった。2Q 3:00頃に大塚6番がドライブに行った場面で3人おるところに行きファウルをコールした。そのコールが本当に必要だったのかもっと分析してコールするべきであった。</p> <p>ベンチコントロールのところ、前半にベンチエリア外によく出てきた時にワーニング、それでも出てきた時にテクニカルファウルでとってもいいものを取れなかった。</p> <p>メカの部分で、トレイルでのポジションアジャストが甘かった。レベルダウンした時に串刺しになっていたりしたので改善、工夫をもっとしないといけないと感じた。</p> <p>全体を通して、まだまだ未熟さを感じました。これからたくさん研究し発見、分析、決断、ポジショニングの工夫までしていきたいと思います。</p> <p>最後になりましたが、今回このような貴重な機会を頂きました、大阪府バスケットボール協会審判委員会の皆様に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。</p>			

2023年度 ステップアップ選抜研修会 参加報告書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	第71回大阪高等学校バスケットボール新人大会 中央大会				
●日程	令和6年2月3日 (土) ~		令和6年2月3日 (土)		
●会場	堺市市立大浜体育館				
●講師	黒岡和哲 氏、茅野修司 氏、細見竜太 氏、北村仁 氏、大倉哲也 氏、太田令菜 氏				
●スケジュール	令和6年2月3日 (土)				
	9:30 開講式・ 10:00 実技開始 16:45 閉講式 17:00 解散				
●担当試合	令和6年2月3日 (土) 11:40 ~				
	対戦カード	大阪体育大学浪商高校 VS		好文高校	
	主審(CC)	森照代	副審(U1)	三富千聖 (U2)	吉田拓哉
	講師／主任	黒岡和哲 氏、細見竜太 氏			
	講評	<ul style="list-style-type: none"> ・リードとセンターのダブルコールの場面で、リードプライマリなのにセンターがテイクすることが多かった。プライマリの意識。 ・センターのポストでのマッチアップの整理ができていない。選手に基準を示すことが出来ていない。 ・ルーズボールやオフボールのところでの大きな接触に対して判定できていない。決断してほしい。 ・ベンチの管理ができていない。ヘッドコーチの声の大きさやアピールが片方のチームは、そんなにしていないのに対して、もう片方のチームのヘッドコーチの声はどうか。そこに対する判定もしてほしい。 			
	自己の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・両チームともにピックマンがいるので、ペイントエリア内の整理(ポストのマッチアップやリバウンド、ルーズボールなど)をしましよとプレカンで話したが、基準を示せなかった。その守り方はリーガルなのかイリーガルなのか、プレイができていからと判定できなかった。その結果、ゲームの終盤になるにつれ、判定基準もぶれていたと思う。 ・コート内で選手がよく倒れるケースがあった。そのすべてがディフェンスが影響して倒れているわけではないが、映像を見返すと自分のプライマリで倒れているケースはイリーガルなディフェンスによって倒れていることが多かった。もっと、そのプレイに対してアングルをとるなど全体を把握する、そして、レフェリーディフェンスをもっと意識しないとイケなかった。 ・アウトオブバウンズやラインクロスにしたケースも、イリーガルなディフェンスの影響でそうなったのを、何が原因でそうなったのかを全体が見れていなかったし、決めつけてしまっていたように思う。 ・ゲームを終えて、講師の方からの話のなかでもあったが、レフェリーが選手やコーチに対して判定基準を示すなどして、ゲームを引っ張ることができなかった。もっと自分の中での判定基準を明確にして、それをコートで表現する決断力や勇気をつけないとイケない。 			

2023年度 ステップアップ選抜研修会 参加報告書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	第71回大阪高等学校バスケットボール新人大会 中央大会				
●日程	令和6年2月3日 (土)				
●会場	堺市立大浜体育館				
●講師	黒岡 和哲 様 太田 令菜 様 茅野 修司 様 細見 竜太 様 大倉 哲也 様 北村 仁 様				
●スケジュール	令和6年2月3日 (土) 9:30 開講式 13:30 PGC 15:25 コートイン 15:35 トスアップ 17:30 終了				
●担当試合	令和6年2月3日 (土) 15:00 ~				
対戦カード	箕面自由学園高等学校		VS	箕面学園高等学校	
CC	田中 孝史氏	U1	稲山 虎祥氏	U2	増田 知真
講師／主任	黒岡 和哲 様 太田 令菜 様				
講評	<ul style="list-style-type: none">・1試合を通して決断していく笛やクローの状況を把握したりクロックを意識したりと気づきができる点よかった。・トレイルのポジションアジャストに改善の余地が見られた。・留学生に対してのコールで、もっと見極めてもいいコールがあった。特に肘のコンタクトに関しては、情報をつかみ判定に繋げていく必要があった。・全体的に、ポジションアジャストに関しては課題が見受けられた。				
自己の感想	<p>北地区でのリベンジマッチということで、ベンチ管理を意識したレフェリングを心がけていました。試合中に何度もワーニングを行なったものの、TFのCallには至りませんでした。ここはクローとして決断できなかった点でした。Fコールでは、留学生の肘のコンタクトを最後まで判定することができず、箕面自由学園のFをつけました。現場では、はじめの箕面自由のDfがイリーガルと判断したのですが、その後の肘のコンタクトを確認できなきていませんでした。確認していれば、ダブルファールの選択肢も出てきていたのかと感ずる場面でした。トレイルのポジションアジャストが1試合を通して不安定でした。自分の中では、ピックピクチャーで捉えようとしていたのですが、これがトレイルが高い要因となってしまう、必要以上に高くポジションアジャストをしてしまいました。</p> <p>しっかりとプレーごとにポジショニングを考えていかないとより正しい判定につながらないと感じました。</p> <p>最後ではありますが、本研修会開催にあたり、ご指導を賜りました近畿IR部会・大阪府審判委員会インストラクターの皆様へ心より御礼申し上げます。また、本大会へ参加させていただきました、大阪府審判委員会の皆様へ心より御礼申し上げます。大会準備やTOを行っていただきました関係者の皆様、並びにチーム関係者の皆様へ心より感謝申し上げます。</p>				

2023年度 ステップアップ選抜研修会

参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	令和5年度 第71回大阪高等学校バスケットボール新人大会					
●日程	令和6年2月3日 (土)					
●会場	堺市立大浜体育館					
●講師	大阪府審判委員会インストラクター:黒岡 和哲 様、茅野 修司 様、細見 竜太 様、北村 仁 様、大倉 哲也 様、太田 令菜 様					
●スケジュール	令和6年2月3日 (土)					
	13:30 PGC 15:25 コートイン 15:35 トスアップ					
●担当試合	令和6年2月3日 (土) 15:35 ~					
対戦カード	箕面自由		VS		箕面学園	
審判	CC	田中 孝史	U1	稲山 虎祥氏	U2	増田 知真氏
講師/主任	黒岡 和哲 様・太田 令菜 様					
講評	留学生のインナーは着用を認められているのか認められていないのか確認したのか? 留学生なので母国の民族的なもので着用は認められている。という事まで試合開始までに確認はしないとイケない。判定に関してはセカンダリの意識をもってコールする必要がある。2QのEOQでのプライマリーエリアで、ショットに対しての判定とタイムアップがほぼ同時に起こった時に直前でタイマーを見るのではなく、レフリーIQでカウントダウンをし、ショットへの判定は目を切らないようにしないとイケない。ベンチ・選手へのワーニング、テクニカルファウルは明確に分かりやすくしないとイケない。					
自己の感想	1試合振り返って、試合開始前には各カテゴリーの競技規則や留学生に対してユニホームやインナー着用を競技部の方に確認を怠った事が反省点だと思った。判定に関してはマージナルの判定を増やし、セカンダリの意識を強く持たないとイケないと思った。各クォーターのEOQ、EOGに対してはクロックのプライマリーレフリーだとしてもプレイを最後まで目をあてるレフリーIQをもっと高めないとイケないと思った。コーチや控え選手のアピールやクレームに対してしっかり管理しないとイケないと思った。フリースロー後のオフェンス側のタイムアウトの処置を誤ったのでルールブック、マニュアルを熟読し、常に冷静で対応しなければならぬと痛感しました。そのことでCCとしてクルーの方には迷惑をかけたしまった。最後になりましたが、研修会を企画運営、また開催して頂きました、大阪府バスケットボール協会審判委員会の皆様、大会を運営されておりました大阪府高体連の皆様へ感謝申し上げます。有難う御座いました。					